被災農地で被災者を対象にした無農薬・減農薬の市民農園造成と実践的「食育」講座開催

復興支援助成

2年目

実 践

食養生講座参加者

農地公園の利用

55人

43区画

今年度計画の達成度

80%

日標達成度

65%

活動地域 福島県



活動内容と成果

津波で被災した耕作放棄地に市民農園 (農地公園) を造成中。45区画の農園の整備が完了し、本格的に畑の利用が始まった。利用者は、6割が被災者、4割が子どもの食育を気づかう母親。園内に井戸を掘っていることから、地下水を汚染する神経毒性のあるネオニコチノイド系農薬の使用は禁止。利用者の皆さんは手作りのハーブによる農薬などで対処している。いよいよ公園部分の工事も完了し、植木を開始。

市民農園造成と併せ、境野米子氏らによる「食養生講座」を年3回の予定で開催している。多彩な内容で、好評をいただいている。



■苦労した点

津波の後に埋め立てられた土質が悪く、排水がうまくできていない。庭園部分に何がどう根付くか試行錯誤になりそうだ。

苦労した点と工夫した点

■工夫した点

道具置き場兼作業小屋の建設を予定していたが、近頃の強風から建設を断念。ぶどう棚を作り、その下を作業スペースにしていく。

目標

草丈の高い耕作放棄地だった場所が、市民の憩いの場と安全な野菜の生産の場になるよう造成する。食育の重要性も併せて伝えていく。

津波で被災した農地で遊休閑地と化しているところ

に環境や景観に配慮した市民農園 (農地公園) を造成



今後の 展望

し、被災者らに利用してもらう。

小学校の通学路に面していることから、ブラックベリーの垣根と花壇を造成中。また園内に小さな庭園を造り、地域の方々が散歩に立ち寄れる場所を作っていきたい。

₹976-0022

福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3

電話:0244-38-7820 E-mail:info@futaro.org HP:http://futaro.org/

